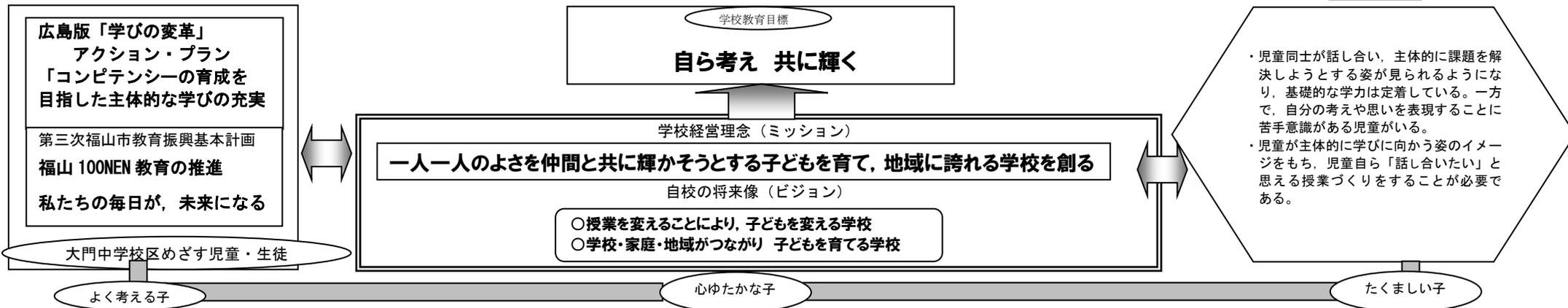


児童の実態



(校区研究主題) 主体的に学び、思考力・判断力・表現力を高める授業づくり
 ～「課題発見・解決する学習過程」を工夫し、他者と協働しながら表現力を高める指導の工夫～

(本校のめざす子ども像) **21世紀型「スキル&倫理観」**
 ・疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして、新たな課題を見つけている。(課題発見・解決力)
 ・生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えをもち、目的や意図に応じて、論理的に説明したり、適切な方法を選択したりして表現している。(思考力・判断力・表現力)
 ・集団の中で相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標をもち、自分から行動している。(主体性・積極性)
 ・相手を思いやることの大切さに気づき、相手の立場を尊重し、行動している。(共感性)

(めざす授業の姿)
 ・児童が「学びが楽しい」と思える授業
 ・課題解決に向けて、児童一人一人が判断・選択し、自分なりの方法で表現できる力をつける授業

(研究の仮説)
 ・児童が自ら考え、他者と協働して課題発見・解決・表現する力を育む指導過程を工夫すれば、児童が主体的に活動し、学びに新たな価値を見出し、自分の思いを表現する力が育つであろう。

音楽

研究の視点

- 一人一人の児童が自己課題をもち、課題発見解決する題材構成の工夫
- 児童の思考を深める教材・教具・ワークシートの工夫
- 音楽表現をみがき合う場の工夫
→目的を明確にしたペア学習やグループ学習の設定
→フラッシュカード等の活用による共通事項の習得
- 言語活動の充実
→音楽を根拠に、共通事項を使って自分の思いや意図・価値などを言葉で表す
- 旭活タイム等を利用した音楽活動

道徳

- 児童が主体的に話し合い、練り合う中で、新たな道徳的価値を見出すことのできる授業展開の工夫
- 道徳性の発達段階をおって児童が物事を多面的・多角的に考え、児童の道徳的思考を深める授業づくり
- 道徳研究部会を中心とした学びづくり案の検討を通じた、研修体制の充実を図る。
- 教材研究シートを活用し、ねらいや発問等が一本筋の通った授業になるようにする。

算数

【導入】

- 児童自らが学びたいと思える導入の工夫
- 児童が自力解決していくことのできる課題の設定

【展開】

- 目的や場面に合った自分の考えの交流形態の工夫
ペア・グループ・フリー・全体
- 考えを共有するための手段としてタブレットを有効活用
- 自分の考えたことを、様々な方法で、自分の言葉で伝える場の設定

【まとめ】

- 適用題による学習の定着
- それぞれの児童の興味関心に応じた探究学習
- 児童の振り返りによる学習の見取り

◎児童自らが学ぼうとする授業展開の工夫や、話し合いの場のもち方などについて、教員同士による授業観察と意見交流をすることで、さらなる授業改善を図る。